

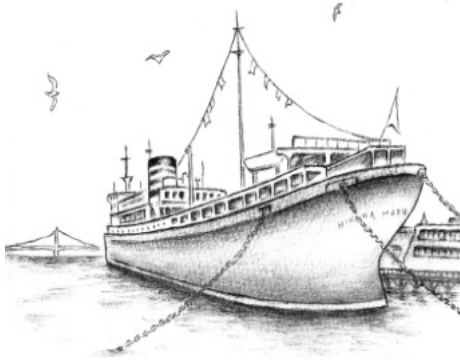
●三位一体後第七主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十五編」

わたしの魂は主によって喜び躍り

御救いを喜び樂しみます。



神を欺いたアナニアとサファイラ

初代教会の弟子たちは家や土地を売り払い、献金していました。アナニアと彼の妻サファイラも土地を売り払いました。しかし相談の上、土地の代金を誤魔化し、幾分かを手元に残しておいたのです。富が惜しい。手放したくなかったからです。アナニアはその代金の一部だけを、使徒たちの足元に置いたのでした。一部だけをささげたのが問題ではありません。ペトロが「欺き」と指摘しているように、彼は「代金の全て」と偽って、申告したのです。「代金の一部を持ってきました」と正直に言えば良いものを、「全部です」と言い表したのです。

より多くの富をささげると、自分を惜しまない凄い人、また信仰深い人だと一目置かれると思います。彼らは人々から注目され、評価され、賞賛を受けたかったのです。人から良く見られたい、その心にとらわれて、偽善的な行動へと足が向いたのです。彼の言動全てが、人の前での見せかけでした。他方では富を惜しみ、確保しておきました。一部はささげたものの、自分を表すために用いていたのです。神への信仰ゆえの真実、純粋なささげ物ではありませんでした。神を中心にではなく、目に見える富や人を中心に物事を見て、振る舞っていたのです。神の前ではなく、人の前を生きっていたのです。

ペトロは彼のことを見抜き、「あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いたのだ」と指摘しました。神はペトロを教会の指導者として、お立てになりました。彼を通して、神の言葉が語られ、神の力が大いに表れていたのです。ペトロの前での欺きは、神の前での欺

きです。しかしアナニアはペトロの前に来ても、誤魔化せるとの思いの中で、全く恐れることなく、偽善のわざを行います。すなわち神の前にも全く恐れることがなかったのです。

アナニアはペトロからの指摘を受けた途端に倒れ、即死したのでした。それから3時間ほどがたち、サファイラが夫の死を知らずに、ペトロのところへやってきました。ペトロは彼女に対して、「あの土地をこの値段で売ったのか」と尋ねたのです。しかしサファイラも真実を話さず、ペトロの足元に倒れ、即死したのです。二人とも、ペトロの前に来てもなお、最後の最後まで神の前であることに気づかず、神を恐れず、悲惨な結末を招いたのでした。教会全体はこの出来事を通して、欺き、偽りを忌み嫌われる神を大いに恐れたのです。

人にとって、重大な事柄はこの世の富や人からの名声を得ることではありません。神を恐れ、神の前を生きることです。その信仰に生きる人は、たとえ人の前にいても、神の前を生きていきます。いつでも、どんな場面においても、神に目を向け、神の御心を中心に生きていくのです。欺き、偽り、誤魔化しなどが忌み嫌われることには足を踏み入れず、身を避けていきます。人前での見せかけを恐れて、真実に、純粋な心で生きていくのです。また一時、過ちを犯してしまつたとしても、神の前での自分のことをかえりみ、神に立ち返って生きていきます。神の御心を中心に、それを喜びとして、なお神に喜ばれるようにと生きていくのです。神を恐れ、神の前に生きることこそ、人にとって、まことに幸いなことです。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

《今日のお知らせ》

○ 本日は諸聖徒記念礼拝です。

《教育奉仕委員会より》

諸聖徒記念礼拝交わりの会のご案内

礼拝後直ぐに地下ホールで帰天されたお二方を偲んで交わりの会を開催いたします。奉仕班よりおにぎり、サンドウィッチの販売とお茶の用意をいたします。

《ぶどうの会より》

七月はぶどうの会は休会です。

《今後の予定》

○ 七月二日 定例役員会

○ 七月二八日 転入会式

○ 七月三〇～三一日 夏季バイブルスクール

《シオンの会より》

七月二七日(水) 一〇時三〇分～一二時シオンの会
を第二・三シオンルームで行います。
(オンラインも併用します)

テキスト 「聖書が教える世界とわたしたち」

一一一ページ

◆救いの実現 (二七) 主イエスの宣教 から読みます。参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《ジュネーブ教会信仰問答》

第十聖日前半

使徒信条「陰府にくだり」に関して

問六五 彼がよみへ降られたと、付け加えられているところは何を意味しますか。

答 それはただ、彼が肉体と魂の分離である自然的死を、受けられたというのみでなく、さらに彼の魂は、聖ペテロが苦難と呼んでいる、驚くべき苦悶の中にとぎされたのであります。

問六六 どのような理由でそんなことが起こったのですか、またどのようにしてですか。

答 なぜならば、彼は罪人らに代わってみ心を満たすために、神のみ前に立たれたのでありますから、あたかも彼が神から棄てられ、かつまた、神が彼に向かつてお怒りになったかのように、あのおそろしい苦悶を、彼の心におぼえられなければならなかったのであります。この深淵の中から彼は、わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですかと叫ばれたのであります。

問六七 では、神は彼に対してお怒りになったのですか。

答 そうではありません。しかしながらイザヤによって、彼はわれわれの罪のゆえに父の手に打たれ、われわれの不義を負いたもうたと、預言せられたことを証しするために、神は彼を、このように苦しめなければならなかったのであります。

問六八 しかし、神自身である彼が、あたかも神から見てられたかのように、それほど恐れる

ことがどうしてありえましょうか。

答 彼はその人性によつて、この窮地に立たれたこと、またこのことのために、彼の神性はしばらくの間、いわば隠れていて、その力を表さなかったことを理解すべきであります。

外山八郎訳（新教出版社1979年）使用

《今日の子ども礼拝》

説教 「タリタ、クム」

聖書 マルコ5章21〜24節、35〜42節

説教者 宮間彰広 兄

《次週の礼拝》

● 子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「5つのパンと2匹のさかな」

聖書 ヨハネ6章1〜15節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

● 主日礼拝（午前10時30分）

讃美歌 87A番 274番

説教 「神を信じなさい」

聖書 ヨハネ14章1〜14節

説教者 黄允湜 牧師





諸聖徒記念礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 12番 488番
説教 「神を愛し、主イエスを愛して」
聖書 マタイ9章9節～13節(新約 P.15)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 吉村和雄 名誉牧師

前奏曲「キリエ、永遠の父なる神」J.S.バッハ

○讃美歌12番

- めぐみゆたけき主を ほめたたえまつれ
そのみつくしみは ときわにたえせず
すくわれしみたまよ おごそかにうたえ
「あわれみとまことは かわることなし」と
- なやみせまるときも み名をよばわれば
主はこたえたまいて この身をばすくい
いとひろきところに いこわしめたもう
主ともにましませば われにおそれなし
- くつるものをすてて みくにあこがれ
ひとにたよらずして みちからをたのみ
わがすくい、わが主をつねにしたいつつ
よろこびのうたもて 御名をほめたたえん

アーメン

○聖歌隊による讃美

「主にありてぞ」(讃美歌361番) R.ジャクソ

- 主にありてぞ われは生くる
われ主に、主われに
ありてやすし
- 主にありてぞ われ死なばや
主にある死こそは
命なれば

3. 生くる嬉し 死ぬるも良し
主にあるわが身の
幸は等し
4. われ主に、主はわれにありて
天(あめ)こそ常世(とこよ)の
わが家となれ

アーメン

○讃美歌488番

- はるかにあおぎみる かがやきのみくくに
父のそなえまししたのしきすみかあり
※くりかえし
われらついに かがやくみくくににて
きよきたみと ともにみまえにあわん
- かがやくみくくににて うきもなやみもなく
たのしきこえあわせ たえずともにうたわん ※
- ちちのあいあふれて さいわい身にあまる
ゆたかなるめぐみをとこしなえにたたえん ※

アーメン

聖餐曲 讃490番「あまつみ国は」D.ウット

後奏曲「この世にあかしをたて」L.ミス

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。